



PDF

3 . タカハヤ (コイ科)



山あいの谷川や池にすむ。比較的水のきれいな冷水域を好む。全長5～12cm程度で、食物の対象は広く、流れてくる昆虫から、藻類まで貪欲(どんよく)に食べる。岩石の下などにかくれていて、そこから淵の中層に出て群れになって餌をとる。

産卵期は3～8月で、淵のよどんだ砂れき底のくぼんだ所に産卵する。

アブラハヤに似ているが、タカハヤは尾柄が太く、体色が茶かっ色であることで区別される。

両者を水槽で飼ってみると、どちらかというアブラハヤの方がスマートでいい姿をしている。

食用にもなるが、美味ではない。

北陸・びわ湖以西の本州、四国、九州など西日本に多い。

六甲山地の川や山あいの池にすんでいる。いずれも自然の豊かな上流に多いが、住吉川では上流から流されてきて、かなり下流にもすんでいる。

食いしんぼうで、釣りやすく、もんどり(セルビン)をつけるとまだつけ終わらないうちから寄ってきて入ろうとする。

水槽内の飼育は特に難しくないが、夏は水温の上昇とともに弱ってくる。



北区 桜が池

Poxinus oxycephalus (SAUVAGE et DARBY)

